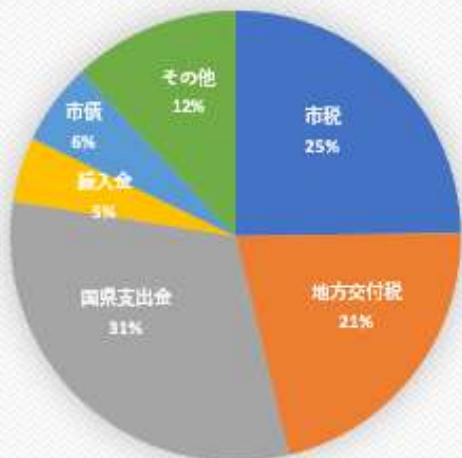


2022（令和4）年当初予算について 歳入歳出それぞれ275億4583万8千円

2022年当初予算（歳入）



＜教育相談事業費＞

スクールソーシャルワーカー1名増員
（各中学校区に1名の3名体制に）

予算額 15,241,000円（うち県支出466,000円）

増員！

2022年当初予算（歳出）



＜ひとり暮らし高齢者等見守り事業＞

地域単位や郷づくり単位でのひとり暮らしや高齢者世帯等の見守りを行うため、地域ですでに実施されている活動も含めて、関係団体間のネットワークの構築を図る。

予算額 636,000円（うち県支出64,000円）

＜自宅療養者生活支援事業費＞

コロナ感染により自宅待機をしている方（県保健所からのリストをもとに）へ、日用品の配布などを行う。

予算額 1,699,000円



＜地方創生事業費＞（東福間駅周辺）

東福間駅周辺地域にぎわい再生にかかる昨年度の調査の結果をふまえた事業実施・実現のための詳細検討と、旧スーパーマーケットの土地及び建物の鑑定評価を実施する。

予算額 5,261,000円
（うち国支出金2,080,000円）

地域の中では進捗状況が見えないという声も

＜公園整備事業費＞

公園照明灯をLED化したり、ベンチの更新等によって安心できる憩いの場に。また日蔭野3号公園の外周にフェンスなどを設置して、福間南小学校の児童が昼休みに遊べるようにする。

予算額 28,877,000円

*普段公園を利用している方に対しても利用しやすいように配慮をお願いします

＜医療的ケア児保育支援補助金＞

医療ケアが必要な児童受け入れのため、大和保育所に看護師を配置。私立認可保育園には看護師配置にかかる費用に補助金を出す。

予算額 8,522,000円

3月議会での一般質問 子どもや若者の支援や学ぶ権利について

まずは「不登校」「特別支援学級」「外国籍の児童生徒」「ひきこもり」の4つの項目における福津市での現状と課題についてを質問しました。

質問 (不登校について)

- ・現在の福津市での不登校の児童生徒数と、コロナ禍での増減について。
- ・111人のうち、教育支援センターや校内適応指導教室にも行くことができない児童生徒は何人いるのか。

市の答弁

- ・2022（令和4）年1月末現在で、小学校48人、中学校で63人の合計111人であり、教育支援センターや校内適応指導教室を設置し、児童生徒の居場所をつくっている。
- ・教育支援センターには小学生12人、中学生11人が行っている。年間15日以上学校に行けない兆候がある児童生徒が86人というのは把握しているが、その他の数は現在把握できていない。

質問 (特別支援学級について)

- ・福津市の特別支援学級の現状と課題は。
- ・特別支援教育連携協議会の開催回数は？

市の答弁

- ・福津市でも特別支援学級は増加傾向にあり、経験が浅い教員が特別支援学級の担任になるケースが増えてきている。そのため、特別支援教育連携協議会を開いて、特別支援教育の理解や取組の充実を進めている。
- ・協議会の内容は保幼小中高の連携、情報共有、指導や実践の事例発表など。開催回数は現在は年に2回だが、今後増やしていきたい。

質問

(外国籍の児童生徒について)

- ・外国籍の子ども達の就学状況と言語の指導支援対策について。
- ・言語も多様化している中、指導員の人数も含めて、しっかりと対応ができていますか。

市の答弁

- ・外国籍の学齢期の児童生徒数は28人で、全員が小学校または中学校に通学している。日本語指導については、担当教員が福間小学校を拠点として各学校を巡回しているが、日本語指導支援団体の協力も得ながら、必要な児童生徒の状況に応じて日本語指導を行っている。
- ・学校の方から必要人数を出して対応しているが、予算措置もしながら、きちんとした指導ができるようにしていく。

質問 (ひきこもりについて)

- ・福津市内でのひきこもり者数について
- ・ひきこもりの相談はどこが窓口でどのような対応をしているのか。

市の答弁

- ・第3期福津市地域福祉計画を策定する際のアンケート調査によると、有効回答数1,029名のうち1.9%の方が、同居している15歳の家族の中で仕事や学校に行かずに家族以外の人と交流をほとんど行えずに6か月以上ひきこもっていると答えている。
- ・福岡県のひきこもり支援センターという専門の窓口や、福津市の福祉課窓口、社会福祉協議会などでカウンセラーが相談に応じたり、必要に応じて専門機関に繋いでいる。

まずは4つの項目ごとに質問、そのあと全体的な質問へ

左のページに記載した項目は、子ども達に関わる課題の中でも「不登校」「特別支援学級」「外国籍の児童生徒」「ひきこもり」の課題の中から4つをあげました。この点について、まず現状と課題について質問しました。今、社会にはこの4つ以外にも「ヤングケアラー」といった問題なども多くなってきました。しかもそれぞれが単独の課題ではなく、「不登校」の子がそのまま成人すれば「ひきこもり」にもなります。このようにそれぞれが絡み合っていることもとらえる必要があります、1つを解決すればいいという問題ではなく、全体としても考えることが大事ではないでしょうか。

福津市では、学校に登校できない児童生徒には『教育支援センター「ひだまり」』があり、また登校はできるが教室には入ることができない児童生徒には『校内適応指導教室』を設けていますが、そこにも行けない児童生徒はどうなるのでしょうか。高校の図書司書の体験談や通信制の高校の実例をあげながら、ただ「場所を設けた」「人を配した」だけでなく、子ども達には寄り添い型の「居場所」が必要ではないかということをふまえた質問を続けました。

質 問

・学校だけでなく、フリースクールなどの民間団体との連携で、子ども達が「どこで学んでも学校に出席した」扱いにすることはできないのか。

市の答弁

・基本的には義務教育である小・中学校で学ぶというのが大前提であるので、きちんとした形での学習なり、教育というものが整って初めて出席扱いとなる。しかしながら国の指針にも居場所づくりという形で進められており、福津市でもどのように連携していくかを、今後研究していきたい。

質 問

・国は2019年不登校児童生徒の支援の在り方として、保健室や図書室を居場所として整備することと通知しているが、福津市では学校図書司書の立場が業務委託という理由で、児童生徒の居場所として活用できていない。実際には子ども達も居場所として図書室を求めている現状もある。改善すべきでは。

市の答弁

・現在も委託業務になっている図書館業務の今後の在り方や、学校現場での常日頃からの健康観察や声かけなども含めて、子ども達にとっての相談しやすい体制、寄り添いを大切にし、連携を図ってサポートの広域化を研究していきたい。
(教育部長)

・福津市で生まれ、もしくは福津市に移り住んで育ち、成人を迎えるまでの子ども達の大切な時期の対応は様々な検討が必要ではあるが、民間や地域とも連携し、見落とすことがないように、情報共有をはかり、社会・地域・行政で対応していく。(市長)

一般質問を終えて…

これまでも一般質問の中で、子ども達が相談しやすい居場所を作ってほしいことを伝えてきましたが、やっと今回、行政側から前向きな答弁をいただけたと思えました。

相談する場所を作るだけ、人員配置するだけでは、そこに行きづらく感じる子は近寄らなくなります。「この人なら話せる」というのは人それぞれ違うので、学校の先生、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー以外にも、保健室、図書室など子ども達が行きやすいいろんな「受け皿」を広く作り、そこから連携をはかって、子ども達を守っていく環境を整えることを強く望みます。

制度やルール上の制限があって難しいことも「子どもの立場を優先」として考えていくべきです。それが「子どもファースト」ではないでしょうか。



「ロシア軍のウクライナ侵攻に対し断固抗議をし恒久平和を求める決議」を 福津市議会で発議、全員一致で可決されました。



2月24日、ロシア軍は国際社会の度重なる警告を無視してウクライナへの全面的な侵攻を開始しました。この侵攻では多数の民間人や子ども達が犠牲となっており、ウクライナ避難民の受け入れが国内各地の自治体でも始まりつつあります。

いかなる理由があっても一般人の命が脅かされる軍事侵攻は許されません。また、これまでも世界のどこかで戦争が起きていたのも事実です。ウクライナだけでなく世界が平和になるよう、一刻も早い停戦の実現を求めます。



臨時議会が開催されました。

2022（令和4）年4月19日に臨時議会が開催されました。今回の議案は、①事業会計（公共下水道事業）の繰り越し計算書の報告が1件、専決処分した事案の承認（一般会計補正予算、福津市税条例の一部改正、福津市国民健康保険税条例の一部改正）が3件、福間中学校の給食棟増築他工事の請負契約の締結することについての議案が1件でした。

特に福間中学校の給食棟増築工事に関しては、社会情勢からの材料の高騰が報道されてますので、予算や工事期間への影響がないかの質疑があり、今後も進捗状況の確認が必要です。



第26回参議院議員選挙

社民党



社民党党首 福島みずほ

社民党は「平和・自由・平等・共生」を理念に掲げています。今回の参議院選挙を通じて、次のような社会をめざします。

- 憲法の理念が実現された社会
- 格差を是正した生活優先の社会
- 人々が支えあい、尊重しあう社会

2022年7月予定
比例区は社民党！

みなさまの応援をどうぞ
よろしくお願いします。



社民党福岡県連合
のホームページ



<https://sdp-fukuoka.jp.org>

